

# 平成18年度 祁答院地域ふれあい市民会議

## 答 弁 要 旨

と き 平成18年10月23日（月）14：00～16：30

ところ 祁答院生涯学習センター

出席者 市：市長，収入役

総務部長，企画政策部長，産業経済部長，建設部長，消防局長，教育部長，  
水道局長，市政広報官，コミュニティ課長，危機管理監  
広報室長，広聴広報グループ長，広聴広報グループ員

市議：高橋修二議員，大田黒博議員，瀬尾和敬議員

地域：祁答院地域地区各自治会長をはじめとする

地区住民約150名

### 議題1 （黒木地区コミュニティ協議会）

#### 祁答院地域の担い手支援対策について

今後の米政策改革は，話し合いをしながら再編が進められると説明を受けた。JAさつま管内では「担い手育成ではJAと行政との連携が不可欠」として，担い手支援室が設置された。当地域からもスタッフの派遣を要望する。

#### 【産業経済部長】

本市は，5月17日に経営安定対策推進協議会を立ち上げ，平成19年度から開始される米政策改革等に対応すべく体制作りを実施した。

この協議会には本庁農政畜産課，耕地課，各支所産業建設課をはじめ，両農協，農業公社，農業改良普及センター，農業委員会等の農業関係団体で構成し連絡調整しながら認定農業者や集落営農組織育成を各地域ごとに検討を進めている。

集落営農は，農業公社と提携のある15の農作業受委託組合のうち特に6組合とその組織化に向けた話し合いを重ね，うち3組合が具体的な取り組みを進めている。祁答院地域では，轟地区コミュニティ協議会話し合い活動を展開している。

そこで新政策の推進を強化するため，10月から本庁に専任職員を配置し，今後，さつま町の担い手支援室も含め関係機関と連絡調整を図りながら認定農家及び農家集団との協議・支援等に努め集落営農組織作りに対応する。このため，さつま町の担い手支援室への派遣は考えていない。

## 要 望

さつま農協の関連もあるのでよく検討いただき、派遣をお願いしたい。

## 議題2 (黒木地区コミュニティ協議会)

### 県道堂山宮之城線の未整備地区の早期整備及び農道大山ノ口線の早期完成について

県道堂山宮之城線、黒木中から黒木浦までの延長700m、黒木浦から矢立公園入り口までの延長2,600m区間は危険な状況にあるため、改良舗装の早期着工を要望する。昨年8月関係機関に要望したので重ねて県に要請していただきたい。また、矢立地区の農道大山ノ口線は、早期完成をお願いする。

#### 【建設部長】

当該路線は、北薩地域と霧島市方面を結ぶ幹線道路であるとともに児童・生徒の重要な通学路であることは、十分承知している。

地元より同意書が提出され、市としても要望を重ねている。

川内土木事務所管内の整備計画には記載されたが、厳しい県の予算状況等から、実施年度は記載されていない。県内の要望箇所を危険度や優先度別に十分検討しながら実施箇所を決定するとのことであった。

今後とも地元の要望熱意を伝えるとともに早期着工に向け、要望を行ないたい。

#### 【産業経済部長】

農道大山ノ口線は、平成15年から県単独補助事業により整備し、残りも要望を継続してきたが、県の採択枠の減少等により平成17年度から未採択となっている。

祁答院地域では、同じ県単独補助事業で藺牟田地区の農道片野線を実施中だが、平成18年度で完了予定であること。また、全延長449mのうち240mが完成している継続地区であること等を考慮し、引き続き平成19年度の県単独補助事業での採択要望を行なっていく。

## 質 疑

県の財政難は理解しているが、何度となく要望を出している道路である。地域として重要な道路なので整備を重ねて要望したい。

#### 【市長】

県道は近く知事と市長が語る会があるので、地元の声が多いですと直接意見を述べたい。川内土木事務所長にもお願いをしているがなかなか進まない。7月1日にもお願

いをしているが重ねてお願いしたい。

農道は現場を見ており、整備しなければならないと思っている。19年度は大山ノ口線に予算を向けられるようお願いしたい。

県道は1.5車線ができないのなら退避道路だけでもという貴重な意見をいただいた。ありがたく受け取りたい。

### 議題3 (上手地区コミュニティ協議会)

#### 旧大村高校跡地の売却後の対応は

上手地区の宿望であった施設の設置が決まったことは有難いが、旧大村高校跡地売却だけで終わるのか、何か地元へのメリットを考えて頂けないか、また現段階での進捗状況はどうなっているのかをお伺いする。

#### 【総務部長】

旧大村高校跡地は、合併前の祁答院町で町議会、町民の方々の熱い思いと好意のもと、保健・医療・福祉施設を誘致するために校舎の取り壊し、敷地整備並びに温泉掘削を行った。合併後はこれまでの経緯を踏まえ、保健・医療・福祉・介護の事業展開を基本要件として7月13日に入札を行い落札者が決定、9月28日に議会の議決を得た。

事業者は、北九州市において介護事業を手がけているところである。

今後、地域密着型介護老人福祉施設（小規模の老人ホーム）、福祉工場（障害者のための就労支援施設）、温泉施設が建設される予定であり、現在事業者側で事業計画で再度の立案、並びに関係機関との協議を行っていると聞いている。

事業者側からは施設の運営に当たり職員の地元雇用を、温泉施設は地元住民へ開放も模索したいと聞いている。

なお、議会でも施設の建設と職員は地元採用をとの意見があり、事業者側と連携を取り地元地域の方々と共存・共栄できるよう対処したい。

#### 質 疑

上手地区コミュニティから、この会に参加いただいている全ての方に長年の念願であった旧大村高校跡地の処分についてお礼を述べたい。

**議題4 (上手地区コミュニティ協議会)**  
**集落再編による新自治会への放送施設の支援について**

上手地区コミュニティ協議会では集落再編を推進中であるが、これと並行して新自治会に単独の無線放送施設を設置する計画であるので、行政側の支援をお願いします。

**【危機管理監】**

自治会が放送施設を設置する場合、市が事業費の2分の1を補助する「広報用放送施設設置事業補助金」の制度がある。ただし、翌年度の予算となるために、広報用放送施設の新設・改良・増設の計画調査を例年9月に行っており、先月自治会長に申し込んでいただいた。

防災行政無線は旧市町村ごとに設置されており本庁から一斉放送ができない。

また、総務省がアナログ方式からデジタル方式への移行を進めていることから、システムについて調査・研究をしており、平成18年度中の決定を目指している。

今後予定している設備は、本庁、支所、消防局、地区コミや自治会からも利用できるものを考えている。

平成18年度に決定し、平成19年度からの事業開始に向け、防災情報が全ての世帯に伝達できるように短期間に整備したい。今しばらくお待ちいただきたい。

**【市長】**

放送施設は日常の自治会活動でも必要なことで1日も早くという願いをもっておられる。2分の1の負担でいいのであれば来年度早々にでも予算措置をしてやっていただけたらと考えている。全世帯に対し整備していくということで今しばらく待つていただくと2重投資を避けられる。大田黒議員からも6月議会で質問され、調整をしている。無いところからデジタル方式を整備していく。

**質 疑**

自治会長宅からそれぞれ繋がられるのか。

**【市長】**

そうなるように整備したい。現在でも役所からの放送で自治会長宅に届くが、自治会長はそれを聞き各世帯に情報が入るように、そのようなシステムが良いのではないか。

**議題5 (上手地区コミュニティ協議会)**  
**新消防分団詰め所設置の進捗状況について**

合併後の消防団組織の改革により、上手分団のこれまでの三詰め所を一箇所へ新設する計画をお聞きしているが、その後の進捗状況を説明いただきたい。

**【消防局長】**

合併前の協議のなかで消防団の再編の協議を重ね、各市町村長や旧消防団幹部の理解をいただき進めてきた。その中で、旧祁答院町の上手分団は3車庫詰所から1車庫詰所への統合を了承いただき、その方向で進めている。

現在、旧大村高校跡地の市有地一部を消防局に移管する方向で、分筆・農地転用の手続きを支所と進めている。

なお、今年度6月20日付けで上手地区コミュニティ協議会からいただいた要望の主旨に沿うように対応したい。また、5月24日に実施した上手分団特別点検の際に団員から強い要請を受け、消防局として実施計画への登載へ向け対応したい。

**議題6 (上手地区コミュニティ協議会)**  
**鹿児島・大口幹線道路整備促進について**

県道下手山田帖佐線の上手浦から漆間の約5kmについての整備が必要である。今後も積極的に要望活動を継続していただきたい。

**【建設部長】**

当該箇所は県に対しても要望している。現在同路線では祁答院中学校前の改良工事が実施中であるとともに、浦下地区のバイパス工事を用地交渉が並行して進められている。改良工事が本年度で完了するため、平成19年度から用地の了解が得られた箇所から、浦下地区のバイパス工事に入りたいと聞いている。

要望の上手浦から漆間約5kmは、同一路線で2箇所の工事は財政的にも厳しいことから、バイパス工事を優先し年次的に整備したいとのことであった。今後とも当該箇所の早期着手に向け、県に対し強く要望していく。

**質 疑**

今朝、土木事務所の3名の職員と支所の課長が来て現場の確認をした。平成19年度から取り掛かるということで嬉しいが、中には庭が切られるということで怒り出した人もいる。是非通していただきたいと思っているが、庭のない家はない。

## 【市長】

県職員も一生懸命やっているのだろうが、言い方が悪いと感情問題も出てくる。

所長に私からも注意したい。ここが引っかかってこうなるという説明をしていけばよいが、引っかかってここを引ちぎらなきゃいけないと言えば、カチンとくるのは誰でも同じ。県職員にも指導いただきたいとお願いしておく。市職員にも注意している。

### 議題7 (大村地区コミュニティ協議会) 林道(藍屋宇都線)の改修舗装工事について

藍屋から広段に通ずる林道改修による、災害時の迂回路の確保と森林資源の効率的搬出、竹炭・木炭生産活動の促進のため是非改修舗装をお願いしたい。

## 【産業経済部長】

林道藍屋宇都線は昭和43年に幅員3.6mの管理道として総延長850mを開設しており、林道大村大谷線と約750mの作業道で繋がっている。

現在は林道の全線850mと作業路の1部約150mが舗装をしてあり、残りの約600mの作業道は未舗装である。

林道の改良・舗装等は、国県の補助事業により実施している。当該路線は全体の森林の利用区域の46.92haをカバーしており、補助事業の採択は難しく、早急な取組みはできない。

作業道の路面が荒れている部分は現地調査を行い路面補修、材料支給等で対処したい。

### 議題8 (大村地区コミュニティ協議会) 特色ある地域づくりのための予算(補助金)措置について

(1) 大谷林道の完全舗装と景観展望所の設置

## 【産業経済部長】

林道大村大谷線の全体延長10,319mのうち本市側が6,370mであり、さつま町側が3,949mとなっている。

舗装については本市側の4,587mが終わっているが、残りの本市分1,783mとさつま町側3,949mの計5,732mについては未舗装である。

未舗装の区間は勾配・カーブとも緩やかなため補助事業の採択基準に該当せず、国の補助事業として取り組みができない。財政状況を勘案すると市単独による取り組み

は厳しい。さつま町側も勾配・カーブとも緩やかで、現在のところ舗装の計画はない。

今後は、路面荒廃等に応じて材料支給等で対処していく。

林道大村大谷線沿いには、展望の素晴らしい箇所があるので森林施業に影響を来たさない場所の草払い等は、維持管理の中で実施し展望の確保に努める。

---

## (2) 森林資源の活用と林道建設（林道天理線からの延長）

### 【産業経済部長】

林道天理線は延長 1,590m幅員 3.6 mで、利用区域面積は 6.1 ha である。

当該林道は利用区域の拡大等が見込めないことから、延長増は難しい。

しかし、天理地域の森林資源を有効に活用していくためには、路網整備は必要なものであるため、森林施業の状況等を勘案し、作業路、集材路整備で推進していく。

---

## (3) 大村古城跡の整備促進（大轟小学校裏手 城山）

### 【教育部長】

大村古城跡〔別称 永福城跡（えいふくじょうあと）・城山〕と呼ばれ、築城者は大前（おおくま）氏とされ、築城年代は平安末期である。その後、鎌倉・室町期に大村太郎や平田親宗（ちかむね）などが居城し、室町中期には、祁答院氏が統括し、新城築城後に廃城となっている。縄張り図を見れば、本丸、二の丸、三の丸の曲輪（くるわ）があり、堀切などの空堀が城内を走っている。南九州特有のシラス台地に築かれた典型的な中世山城の形態をなしている。

シラス台地に築かれた関係上、崩落などの危険性があり、崩落対策が行われている。

この城跡を整備するとなれば、民有地の公有化や学術的な調査を含め行わなければならないので、将来にむけた研究課題としたい。

### 【市長】

入来町の清色城跡で今、まったく同じような整備をしている。入来町の時代に文部科学省の文化庁と協議し、審査を受けて用地買収を進めている。毎年文化庁が補助金を出して、その補助金の対応額だけを用地買収している。同じような文化庁の手続きを踏まずに市の単独で進めるのは難しい。気の長い話だが、澁谷・島津の昔から歴史があり、それ以前の山城でもあるということで文化庁と協議し、入来町が目処がついたらこちらに入っていけるよう対処していきたい。城郭はないが、素晴らしい歴史があるので引き継いでいなければならない。すぐは無理だが計画的に取り組んでいきたい。

**議題9 (大村地区コミュニティ協議会)**  
**農業経営安定化対策について**

水田の裏作利用のための土地改良について

(1) 湿田の排水工事による乾田化事業の推進

**【産業経済部長】**

排水対策として、通常、暗渠排水工事を導入することになる。

祁答院地域では、従来より要望に基づき排水対策工事を実施しており、引き続き、要望箇所の現地調査を行ない優先順位を考慮しながら実施する。

平成17年度の祁答院地域は4地区2.4haの受益面積を実施している。

なお、要望の箇所が大規模な場合は、県単独の補助事業の導入も考えている。

(2) 集落営農集団の具体的推進

**【産業経済部長】**

農業公社と連携している15の農作業受委託組織を中心に推進を展開し、その中で特に組織化が進んでいる市内6組織を中心に話し合いを進めている。

これらの地域を中心にし、集落営農地区を広げて推進する予定であり、地域の方々、農家の方々と協力しながら住民検討会、研修会等を開催していく。

(3) 裏作・小麦・大豆等の集団栽培の実現

**【産業経済部長】**

小麦・大豆等は、品目横断的経営安定対策の支援策があるが、麦は収穫期の雨など気象条件が厳しく、大豆は収穫物での出荷でなく付加価値をつける工夫がいる。

そこで、畜産の盛んな祁答院地域は、自給飼料の確保の手段として飼料作物は是非推進していただきたい。市の重点7推進作物、さらにさつま農協で推進しているかぼちゃ、その他野菜等を地域農家と検討し集団栽培する作物を見出し、農地集約等で集団栽培の実現を図っていただくよう協力したい。

**議題10 (大村地区コミュニティ協議会)**  
**河川の再改修と水の確保について**



## (1) 井堰による送水路の設置

### 【産業経済部長】

井堰の設置は昨年からの要望であるが、河川管理者である川内土木事務所と協議し、現地調査を実施していただいた。

約20年前に河川災害等の防止対策として、瀬早川の河川改修を実施した際に当時設置されていた井堰の撤去補償を受けた経緯もあり、また現段階では水利権協議や計画高さなど各種協議事項も多く困難な状況である。

今後、さらに協議を継続するので、ご理解とご協力をお願いします。

### 質 疑

ポンプを設置していただいたが、水の取り合いでけんかになる。高城温泉や出水のあたりを見ると、やはり昔の井堰は魚もすんでよかったなと思う。我々も協力するので、是非井堰を設置していただきたい。

### 【産業経済部長】

要望として承るが、過去の経緯を知っている。概ね見積もっても億単位の費用に係るのではないかと。ご理解いただきたいが、協議は継続する。

### 【市長】

県側に20年経過したのでポンプの償却も終わったのではないかと。ポンプではどうにもならず井堰のほうに変えて欲しいとの地元の要望があると、お願いしておく。

## (2) 川面の葦対策としての除去推進

### 【建設部長】

毎年、皆様方には河川愛護作業を行っていただき、誠に有り難うございます。

指摘の瀬早川・谷丸川せはや たにまるの2河川は、県の管理する河川であり、瀬早川は、平成17年度に葦等の除去を実施していただいた。

今後も河川環境を考慮し、葦の繁茂や土砂の堆積状況を調査し県へ要望していく。

この2河川は平成19年度県単河川等防災事業の箇所要望をしている。

**議題 1 1 (轟地区コミュニティ協議会)**

**県道川内祁答院線 (333号線), 大村報徳学園近くの未改良区間の早期整備について**

(1) 等箇所は, 延長 100 m, 幅員 4.8 m で道路整備が行われていない。通学路でもあり, 児童生徒は危険な状況である。改修の早期実現策をお伺いしたい。

**【建設部長】**

同意取得が大変厳しい状況にあることは承知している。

通行の支障になる立木の枝は, 地権者の理解が得られ伐採させていただいた。今後とも道路事業及び交通安全対策に理解が得られるよう, 一生懸命取り組みたい。

---

(2) 歴代の旧祁答院町長をはじめ宮之城土木事務所におかれても, 問題解決に努力されたが, 安全面に対する対策は殆どなされていない。相手があることで, 簡単に解決しそうにないので, その間の具体的な緊急安全対応策をご検討いただきたい。

**【建設部長】**

交通安全対策は誘導標識や路面に「スピード落とせ」の文字表示が設置してあるが, まだまだ不十分なので, 幅員減少の予告看板や減速表示板等の設置を県にお願いした。

川内土木事務所も, 地権者と交渉経緯や現場の危険性は, 十分把握しているので, 道路にはみ出した立木の枝の伐採は, 地権者の理解を得ていきたいとのことであった。

**【収入役】**

歴代の町長の一人であり, 責任を痛感している。私も通勤に使う場所で, 子ども達の危険を身をもって感じており, 何度となくいろんな人, 特に P T A, 若い先生方, 地元の議員さんや支所の産業建設課を中心にお願いし, 取り組んで解決していきたいと思っている。さつま町であるが 333 号線の中でカーブが取れて舗装がされて大変通りがよくなっていた。ああいう状況を見るに, なんとか県にもお願いをしながら, 旧町長の 1 人として責任を感じていることでお許しをいただきたい。

**【市長】**

収入役のほうから前町長として関係者が一生懸命になって相談をしているとのことであります。今しばらく温かく見守っていただきたい。関係者が協議しているので, ご理解をいただきたい。

(3) 樋脇，山田山県道の整備拡幅工事の早期着工も要望する。

#### 【建設部長】

県道川内祁答院線山田山～杉馬場間は，樋脇地域のふれあい市民会議や本市からの県要望でも提案されている。

現在，地形図による概略設計が完了している。今後予算を確保し，詳細現地測量による設計計画を行なうこととなっている。

早期着工に向け，市としても強力な要望をしていく。

#### 質 疑

県道に設置されている歩道について，土木事務所の敷払いの手が届かず，有効活用がなされない状況である。シルバー人材の方々でも利用できないかお願いしたい。地区コミはふるさと美化活動や自治会長の研修の場で清掃など努力をしている。

#### 【建設部長】

県にも作業班があり，伐採や穴の補修を行っているが，手が届かないのと作業班が廃止の方向だと聞いている。

しかしながら，交通の安全は確保しなければならないので，我々に連絡いただければ県に繋ぎ早急に対応いただくようお願いしたい。

作業するかどうかは県の裁量なので，なんとも申し上げられない。

#### 【市長】

自治会の皆様方で草刈機でやれるところはやっているとのことなので，危険なところは業者に来てもらうよう，県に要請したい。ふるさと美化活動などでご協力いただき，感謝申し上げたい。

#### 議題 1 2 (轟地区コミュニティ協議会)

#### 林道松木場線の全線早期開設整備について

当林道は林道開設全長 1,413m で，平成 13 年度に着手して未開設部分約 400m である。地権者の同意を得る事が出来ず工事は中止の状況となっている。何とか地権者から同意を得ることが出来たので，再度早急に工事の予算処置をお願いする。

#### 【産業経済部長】

林道松木場線は利用区域が 23ha で，県単の林道開設事業により平成 13 年度から 15 年度まで実施し延長が 1,013m，未開設部分は約 400m 残っている。

当該林道は林道大村大谷線に繋がることで林道の活性化に必要な路線になる。

県単林道開設事業として要望しているが、予算が厳しいため採択が厳しく、森林施業道としての取り組みが早期にできないか協議をし、決定次第実施したい。

**議題 1 3 (轟地区コミュニティ協議会)**  
**市道馬頃尾、竹下線道路舗装整備について**

瀬戸口から竹下入り口までの約 1,300m の区間で、水道管が破損したことや、路肩が緩むなど舗装が老朽化している。路面に穴があくなど、交通に大変危険な状況で舗装整備を早急にご検討いただくよう要望する。

**【建設部長】**

当市道は大型車両などが通行し、路面や路肩等に老朽化が見られる箇所もあるが、全体的には舗装の状態はいいと判断している。

舗装が剥がれ路面に穴があくなど見受けたら、支所に連絡いただければ早急に対応する。

ただ、道路維持工事は市全域の中で緊急性の高いものや、事故が発生する恐れのある箇所を優先して実施することとしており、要望の区間の舗装整備は、今後の舗装面の状況を見ながら、対応を検討していく。

**【市長】**

悪いところがあれば、全部は無理だが少しでもやりなおすようと、現場の写真を見ているが、50mでも舗装しなさいと指示したい。

**議題 1 4 (蘭牟田地区コミュニティ協議会)**  
**県道宮之城加治木線の歩道建設の促進について**

昨年の秋に地権者の同意書をもって川内土木事務所に陳情しているが、県から前向きな返答は得ていない、今後も引き続き要望いただくようお願いする。

**【建設部長】**

県道のことについてはいい答弁がなく申し訳ない。

県道宮之城加治木線の蘭牟田地区は歩道が途切れ途切りに設置され、通過車輛も多く大変危険な箇所である。

平成 19 年度県単独要望としてすでに提出し、県で調整中である。早い時期に整備ができるように再度県に対し今後も強く要望していく。

#### 【市長】

知事にもこの祁答院地域で知事と語る会をしてもらいたいと思っている。25日に知事と市長の語る会を予定しているので、申し込んでもすぐというわけにはいかないだろうが、一番最初は入来で、今年は甌島でやっていただいた。

47都道府県の中でも県の財政が一番苦しく、780ある市の中でワーストから数えて136番目とのことだが、新聞によると財政力指数では県で5番目に上がってきているようだ。財源を確保した上で、問題解決に努めたい。

#### 議題15 (蘭牟田地区コミュニティ協議会) 蘭牟田小学校プール改修工事について

昭和32年10月に建設され、ひび割れや水漏れの箇所も多く老朽化が進行しており、是非とも改修建設工事を要望する。

#### 【教育部長】

蘭牟田小学校のプールは、昭和32年度に建設され、最も古く、老朽化が進行しつつあり、改修の時期を迎えていることは認識をしている。

現在、校舎、体育館、プールといった学校施設は基本調査と耐震化優先度調査を実施し、この調査結果を基に整備計画を策定する。

蘭牟田小学校のプールもこの調査結果や他校との施設整備のバランスを踏まえ、改修の時期と改修方法を検討していきたい。

#### 【市長】

一番古いプールである。年が明けると丸50年になる。優先的にしたい。アルミ製の枠を当てはめれば安く上がり、早く仕上がるのではないかな。

#### 議題16 (蘭牟田地区コミュニティ協議会) 蘭牟田小学校調理室の利用、活用について

平成19年度から入来町の給食センターから配食とのことだが、19年度から蘭牟田小学校の調理室の利用計画があるのかお伺いする。

#### 【教育部長】

祁答院地域の学校給食は、平成19年度より自校方式からセンター方式に変更する予定で、各小中学校の調理室は廃止することになる。

藺牟田小学校の給食調理室は、今後調理器具の一部を給食数の増加する入来学校給食センターに移管するが、学校の給食調理室は大型の回転釜など調理専用機器を備えた特殊施設であり、藺牟田小学校には最新の設備を備えた家庭科室が整備されているので、現状のまま専用の家庭科調理室として活用することは難しい。

なお、教育の一環として教師や専門家と一緒に多人数のための調理をする施設としての活用はできるので、食生活改善グループと児童との郷土料理伝承の場として、また児童・保護者との料理教室の場として利用ができないかどうか、学校とも協議し検討したい。

#### 【市長】

今村前町長が精魂傾けて立派な学校給食の調理室を作った。教育委員会も悩んだが、祁答院地区の小学校も統合することにした。学校自己方式はできたてでおいしいと、みなさんからご意見をいただいたが、いろいろ検討し給食センター方式に切り替えた。

この施設を生涯学習の食生活改善グループのみなさんや学校関係の行事でも有効に活用いただけるようお願いする。今村前町長も断腸の思いでいると思う。

予算編成の中で国・県が締め付けてくるとなんとか負けないように対応していかなければならない。職員も減らし、支所の機能もなくなるのではと懸念されているだろうが、本庁と連携しながら足りないところは補っていかねばならないと考えている。

市で運営している和光園という老人ホームもあるが、来年3月末日に民間に委譲することにした。そこから職員が10数名でるので、足りないところに補いたい。20年度は市立の保育園も民間に委譲したい。甌島の特別養護老人ホームも委譲したい。行政のスタッフを減らしつつも市民サービスを維持するよう取り組んでいるのが実情である。

薩摩川内市が沈まないよう、ご理解いただきたい。

#### 議題17 (藺牟田地区コミュニティ協議会)

##### 藺牟田池周辺の管理状況について

今年の6月から指定管理者制度が実施され、藺牟田池周辺の管理も鹿児島市の業者に委託しているが、今までより手入れが足りないのではとの苦情をよく聞く。昨年10月ラムサール条約に登録された場所でもあり、十分な管理がなされるよう要望します。

#### 【産業経済部長】

藺牟田池自然公園施設、アクアタイム、及び竜仙館を含めた祁答院地域観光施設は、本年6月1日に指定管理者制度を導入し、鹿児島市の民間業者が管理代行をしている。

特に、藺牟田池自然公園は平成17年11月8日ラムサール条約登録以来各方面から注目を浴び、今まで以上の維持管理を求められていることから、指定管理者に対しても随時協議を行い要請してきた。

しかし、公園の管理の手法等について公園利用者から一部苦情が出る状況となった。

ご指摘の件は、夏場の除草作業が不足したことから、サイクリングロードをはじめ、池の周りにおいて草が生い茂ったままとなった。

再度指定管理者と現地確認や協議を実施し、直ちに除草作業をするよう指示し、現在除草作業が指示通りにしていることを確認しているが、今後も指定管理者に対し、業務仕様書に基づく施設の維持管理の指導を徹底し、適切な観光施設の運営に努める。

#### 【市長】

私も先般、祁答院地区が宮之城警察署管内から薩摩川内警察署管内となり、その会議で祁答院町の住民の方から管理がなっていないとお叱りを受けた。早速主管課を呼んで現地を調査してしっかり指示をしろと申したところである。誠に申し訳なかった。

少しでも行政の管理を少なくし、民間の活力を生かし、仕事の間ができるよう指定管理者代行制度をとっているが、結果的に藺牟田池のイメージを悪くし反省している。

みなさまからお気付きの点があったら、藺牟田池おかしいぞとご一報いただきたい。

#### 質 疑

施設管理者と地元の商工会、観光協会、地域の方々と顔つなぎができていない。会合の場を作っていただき、イベントなどについて議題が出てくればと思う。

また、温泉のことでも指定管理者と場をもって欲しい。

#### 【市長】

指定管理者制度に基づき管理をお願いしたのは市であるので、いろんな問題点も調整し、現場の方々と地域の方々と顔つなぎをし、気軽な連絡、声かけも必要なことである。藺牟田池だけの問題ではなく他のところもあるだろう。意向を業者に伝えたい。

**質 疑**

自治会・墓地の水道料金は無料であった。高齢化が進む中、負担が大きい。  
祁答院町に若者が帰ってきたが、オール電化にしたところ水道が循環になっており、水圧が少なく利用できない。早急にパイプの入れ替えをお願いしたい。

**【水道局長】**

合併後全体的には、自治会・墓地等の水道料金はいただいている。祁答院地区もそういう方向で進めており、早めに水道メーターを設置し、現況把握をし、いただくという方向で検討したい。恐縮だが、全体的な方針でご理解いただきたい。

水圧不足は、場所を教えていただき検討したい。前回のふれあい市民会議で要望のあった箇所は、早速18年度に認めていただき、現在設計中である。

祁答院地域の皆様には水道事業にご協力いただき、感謝している。

**【市長】**

水道は水圧の検査をやるとのことなのでその結果を踏まえご連絡したい。

自治会・墓地の水道料金を無料にということであるが、水道審議会にかけなければならず、場合によっては議会の皆様の意見を聞くことになる。336の自治会があり、3分の2くらいが館を持っている。全部の使用料を免除すると多額の金額に上るのではと思う。お墓は毎日行く人もいれば週1回水を換える方もいて量的にはそんなに問題がないと思う。この問題は持ち帰って勉強したい。

**質 疑**

林業が不振であるが、祁答院町は森林が多い。薩摩川内市は中国の常熟市と友好関係にあり、中国は工業化が進んでいると聞いている。木造住宅など林業の需要が発生し、市内の木材を輸出すれば林業の発展に繋がると思う。

**【市長】**

10月8日の木の日、各森林組合や林業担当職員が見えて、林業関係、森林関係、木材関係が、値段が少しずつ出てき始めた。外国産の輸入も規制され、国内産を使うような状況になった。市が建設する校舎、市営住宅などについても市内の木材の使用を推進して欲しいという要望もされた。杉、檜の40年物、50年物が出てきつつある。市でも大事にして木材を使った住宅、公共物を推進していかなければならない。

現在、再建中の関係団体があるが、今後、川内港から中国、韓国、東南アジア方面に建設のための木材を輸出したいと聞いている。具体的に詰めなければならないが、将来実現化するのではないかと思う。港を活かしていきたい。



パルプやコンテナなど輸入は活発になってきたが、輸出は主だったものがなく空で帰っているの、材を運んでいけるシステムに仕上げれば、林家の方々の意欲も出るのではないか。木材の値段も少しずつ良くなってきた、そうなれば林道の整備も必要になると思う。貴重なご意見をいただいた。

#### 質 疑

市の少子化、高齢化の中で少子化対策、教育問題は重要であると挨拶で述べられていた。いじめ、自殺、拉致、低学年の殺人、目を覆うばかりの事件が毎日のように起きている。市では表には出てきていないが、水面下では小さなものがある思う。当教育委員会ではどのような施策、指導をしているかお聞かせいただきたい。

児童クラブの助成金について、昨年この場で市長は重要な問題として持ち帰って検討したいと回答したが、結果としてカットされた。指導者の給料を減らすわけにもいかず、児童クラブで畑にさつまいもを作り、焼酎工場に売ったがそれでも足りない。民間から知恵を借り、おそば、ソーメンを注文して何とか運営している状態である。

通学路に草が出ていて危ない、ライトもついておらず、段差もあるのでPTAからの意見としてあげたい。

#### 【市長】

少子化の問題の中で、特に子どもの教育、あるいは家庭教育、地域社会の係わり合い、子どものいじめ、虐待、登校拒否などいろいろある。議会の中でも市内ではないかと時々質問がある。現在のところ表面上はないが、絶対ないとはいえないのではないか。自殺等がないように、未然に学校現場、地域、家庭で上手くリンクし防がなければならない。

安全・安心のまちづくりのなかでも、青パトの関係でも事業を展開している。青少年の健全育成のためにも、しっかり取り組んでいく必要がある。

昨年、児童クラブの助成金に対し検討しますと答弁したが、補助金の見直しの後でどうしても必要なものとして、児童クラブなど放課後の安全・安心の施設・指導は大変重要なので来年度の当初予算の中で考えていきたい。地域で児童クラブを立ち上げておられるが、3人以上で新しく事業を立ち上げており、普遍的で継続的であったり、他にも共通する問題があれば新規の事業として採択するが、そういうものに対応できないか、知恵をお借りしながら、提案があればPRしていきたい。

通学路については、藪になり、ハゼの木が生い茂り、朝露に濡れて皮膚に当たると皮膚病になったりと昔からある。これについても現場を確認し、本来は県でやるべきだが、地権者の理解が得られたらボランティアでもできないところは職員で対処したい。

#### 質 疑

九州電力に対するお願いである。私の地域は川内営業所と国分営業所の2ヶ所で賄われているが、私の地域がちょうど境になっており、台風等が来襲すると、『夕方温泉に行くと電気が煌々となっている。風呂に入って帰ればロウソクの火でご飯を食べなければならない』という状況である。今までも私から何回も申し上げたが、改善されていない。藺牟田地区は全体だと思うので、川内営業所の方に配置替えをしていただくようお願いする。災害時のことを考えて進めていただければ非常にありがたい。

#### 【市長】

台風が去ったあと、自宅は停電、隣の集落は煌々と明かりが点いている、これこそ痛の癢に障ることはない。川内営業所と国分営業所になっているということを初めて聞いた。どういう技術的な送電の関係があるか分からないが、同じ薩摩川内市にそういう不自由な面があるとすれば早く改善していくべきではないかと九州電力へお願いしたい。